9	２番　　松　林　　敏　　議員 ①　本町の渋滞対策について 　車が１家に１台の時代から、１家に２台、そして １ 人に１台へと変わってきて本町の渋滞は深刻な問題となっています。特に高田地区では、高田南土地区画整理事業やその他の宅地造成による世帯数の増加が見込まれ、あと数年で交通量が激的に増加することが予想され、渋滞がよりひどくなることが心配されます。そこで以下の質問をします。 （１）昨年の同僚議員からの高田越交差点の渋滞についての一般質問で、信号機のタイミングをずらすことで渋滞緩和につながるようにできないか協議を行っているという話がありましたが、今現在の協議の内容をお聞かせください。 （２）長崎県交通渋滞対策協議会において、道の尾交差点、長与交差点、三彩橋交差点の３か所が主要渋滞箇所に選定されているが、渋滞対策の計画や検討はなされているのかどうかお聞かせください。また、高田南土地区画事業が進むにつれ、高田越交差点は今後ますます渋滞が予想されることから、高田越交差点も主要渋滞箇所として見直しを求めることはできないかお聞かせください。 （３）高田越交差点の渋滞をさけて国道２０６号線へ行くために、百合野から打坂交差点を通る車が増えています。道が狭いため歩行者が危険にさらされていると感じています。この道路の整備の計画、考えをお聞かせください。 （４）三彩橋交差点の渋滞は、長与と時津を結ぶ主要な道路が１本しかなく、ボトルネックになっているからだと考えます。日常の通勤・通学はもちろんのこと、災害時を考えると時津町とつながる道路を増やすことが望まれると考えるがどうか。 ②　ランドセル症候群について 　ランドセルの重さが子供の成長を阻害する要因として注目を集めています。文部科学省は通学時の荷物を減らすよう、教科書などを学校に置いて帰る「置き勉」を２０１８年から推奨しているようですが、本町での取り組みの状況はどうかお聞かせください。